

Cuervo y Sobrinos 取扱説明書

この度は「クエルボ・イ・ソブリーノス機械式腕時計」をお買い上げ頂き有難うございます。クエルボ・イ・ソブリーノスは、現代の腕時計に必要なとされる特性を考慮して設計されています。いつまでもその機能を保ち優雅な時を刻み続けていくように、正しくご使用ください。

時計をご使用頂く前に本書をご一読ください。

お買い上げ頂いたクエルボ・イ・ソブリーノスを日常生活のパートナーとしてご愛用頂き、これからの一瞬一瞬を共に過ごしてください。

◆使用方法

この時計は自動巻式機械時計です。

時計を身につけて動くことでローターが回転し、ゼンマイを自然に巻き上げます。また、リュウズを回してゼンマイを巻くこともできます。

止まっている時計をご使用になる時はリュウズを回してゼンマイを巻き上げて時刻を合わせてください。

ゼンマイを巻く際にはリュウズを12時方向に、約20～30回ほどゆっくり回して十分に巻き上げてください。巻き上げが完了してもリュウズは回すことができます。

なお、リュウズを逆方向(6時方向)に回してもゼンマイは巻き上がりません。

この時計はリュウズのファンクションに一部特殊なユニットを使用しているため、巻き上げが多少重く感じられることがございますが、故障ではございません。

ゼンマイが十分に巻き上げられた状態での持続時間は、約42時間です。

自動巻は普通程度の活動をされる方なら、1日腕に着けていると、約42時間分のゼンマイを巻き上げることができます。活動量の少ない方は十分にゼンマイが巻き上げられない場合があります。その際は、リュウズを巻いてゼンマイを巻き上げてください。

機械式腕時計の精度は、日差が約0～±20秒位になるように調整してあります。

ただし、ご使用される方の行動や習慣の違い、温度差、ゼンマイの巻き具合、機械の磨耗度等に影響を受け、誤差が生じる場合があります。

3時位置の小窓はスモールセコンド(秒針)。9時位置は30分計になっています。

中央の一番細い針はクロノグラフ針です。

リュウズを引き出して回すと時刻の修正を行うことができます。

*リュウズを引き出しての操作終了後、元の位置(定位置)にしっかりリュウズを戻してください。

2時、4時位置のケース側面にプッシュボタンがあります。(図1参照)

それぞれのボタンはクロノグラフ(ストップウォッチ)計測に必要なボタンです。

○2時: スタート・ストップ

ボタンを押すとストップウォッチがスタート、もう1度押すとストップします。

さらにもう1度押すと前回ストップした位置からの積算にて計測が開始します。

○4時: リセット

ボタンを押すとクロノグラフ針がリセット(12時位置へ戻る)されます。

日付変更表示が入れ替わる午後9時から午前3時の間は、時刻修正を行わないでください。(故障の原因になります。)

<図1>



スタート・ストップ



→ 引き出す(時刻合わせ)



1



リセット

* 画像はイメージです。

実際のデザインと異なる場合があります。